



田舎体験は教育旅行の主流

今回、田舎体験を企画された先生方は一様に、「これあいい体験をさせたい」と強調されます。例えばそれは、お隣同士が気楽に声を掛け合ったり、おすそ分けしたりする何気ない田舎の気遣いや絆です。そんな場面に出会った生徒たちは「私の町ではあり得ない」と驚きの声をあげます。

田舎が持っている地域での「気遣いや絆」とは現代で言う「コミュニケーション能力」であり、それが「田舎力」なのです。時として煩わしいかとも思いますが、現代社会に不足し求められているものです。そんな「田舎力」を体

感できる田舎体験が教育旅行の主流になりつつあります。

ほんもの体験を通じて

心の交流を

誇りこそ地域の元気の源

では田舎体験で、どのようにして「田舎力」を感じてもらおうのでしょうか? 「田植え作業」「畑作業」「苗箱洗い」「よもぎ餅作り」「地域散策」など、これらは私たちが生活の中で普通に行っているものです。でもこれらは都会では体験できない、田舎の「ほんもの体験」です。特別なものは必要ありません。皆さんの生業や趣味でもいいのです。

これらの作業を生徒に教え理解してもらい、たくさんの方の会話をすることが「心の交流」につながります。それが田舎体験の最大の目的なのです。

「よもぎ餅って何?」「蔵って見たこと無い」「田んぼの中はにゆるにゆるしている」など、何気ないことに驚く生徒たちの姿を見て、受入家庭の皆さんは「こんなことで驚くとは思わなかった」「こんな当たり前のことを知らない」とは「逆に驚かされます。私たちが普段当たり前と思っていることが、生徒たちにとっては新鮮で、新しい発見なのです。」

今こそ心の交流 田舎体験!!

約1,200人を122軒で受け入れ

「教育旅行（修学旅行や野外活動）なら、日野町で田舎体験を」と三方よし！近江日野田舎体験推進協議会が本格的な誘致を始めて2年。昨年度は1校162人の受け入れでしたが、この春、神戸から6校、神奈川県から1校、計約1,200人の中学生を日野町内の122軒で受け入れました。なぜ今、教育旅行は田舎体験を望むのでしょうか?それは現代社会に忘れ去られているものがこの田舎にはあるからです。

さあ、今こそ心の交流！田舎の出番がやってきました。



▲茶摘作業



▲苗箱洗い



▲田んぼの補植



神奈川^{えびな}県海老名^{ありま}市立有馬中学校学年主任
霜島 恵 先生より

たくさんのふれあいをありがとう!!

修学旅行では、大変お世話になりました。
皆様方のお陰で、私たちの思い通りの、
すばらしい修学旅行の3日間を過ごすさせて
いただくことができました。

今回の修学旅行で、なによりもすばらし
かったのは、生徒たちと受け入れ家庭の方
々とのふれあいの取り組みの過程で「事前
のふれあい」をたくさんさせていただいた
ところでした。

私も日野駅でいくつかの家庭の出会いを
見せてもらいましたが、どのご家庭と生徒
の出会いも「はじめて」とは思えない、和
やかさがありました。また、いくつかの出
会いはまるで「初めて会う」のに「懐
かしい人に会いに来た」かのようにすら見
え、とても印象的でした。

手紙や写真、電話での事前のやり取りで、
会う前から触れ合うことができていた、そ
の成果を見ることができ、初日の出会いか
ら、私はうれしくて仕方ありませんでした。

帰ってからの打ち合わせで校長先生が
「日野町の田舎体験はよかった。次の学年
も、日野町で修学旅行をできるとよい」と
私たち職員の前で話してくれました。

長年思い描いてきた「理想とするふれあ
い」ができたと思っています。

日野の皆さんには、本当に次々といろ
んなお願いをし、応えていただきありが
とうございました。このことに関してはいく
らお礼を言っても言い尽くせません。本
当にありがとうございました。

▼雨の中、ハウスのバラシ作業



▼玉ねぎの収穫作業



生徒たちによって気付かされる
ことが受入家庭にとつての自信と
なり、田舎に生きる誇りの回復へ
とつながります。その誇りこそ地
域の元気の源になります。

日野町の「田舎力」を絶賛!!

先生方は受け入れ家庭の熱心で
優しい対応に「生徒たちは目を輝
かせ、豊かな表情を見せる」と話
され、受入家庭の寛容さや姿勢、
荒天時でも体験内容が充実してい
ることを絶賛されています。
平成23年度には、関東地方から
3校の修学旅行の受け入れを予定
しています。
ぜひ皆さんの素晴らしい「田舎
力」で田舎体験の受け入れをお願
いします。

最後の日野町の皆さんとの握
手の時は、ほんの24時間しか、
その地にいなかったのに、胸の
奥がギュッときて、鼻がつん
として、目は相手を見られな
いほどだった。握手をしながら走
馬灯のようにこの24時間のこ
を思い出していた。この田舎体
験で分かったことは人の温もり
だった。ほんの一瞬でも関わり
なんだから、今度からは進んで
人との関わりを作っていこうと
思った。



生徒の感想



約24時間の体験で何ができ
のたろう?とと思っていただけ
野菜の収穫や料理、近所の散歩
や昔の遊びなど、考えていた以
上にいろんな体験をさせてもら
いました。そういうことをやっ
ているときに、田舎にしかない
楽しみ方って山ほどあるなあ
と思いました。
体験以外にも日野町の方の優
しさや温かさを感じることがで
きて、本当に嬉しかったです。

皆さんも感動の田舎体験にご協力くだ
さい。お問い合わせは下記まで。

三方よし! 近江日野田舎体験推進協議会
(事務局: 商工観光課 商工観光担当)

☎026562 有線08965 FAX 02043
メール kankou@town.shiga-hino.lg.jp



▲また来なや~!!

▲涙のお別れ